

# 沖永良部民謡について

— 第7報 玉城地区（和泊町）における調査 —

## On the Folk Songs of Okinoerabu-jima, The Ryūkyū Islands, Japan

— 7. Survey in the Areas of Tamajiro (Wadomari-chō) —

鹿児島女子短期大学 前 原 隆 鋼

和泊町教育委員会 永 吉 敏 人

### I はじめに

本稿は2004年2月に発表した「第6報上城地区（知名町）における調査(2)」に続くものである。

研究目的は第1報(1999)に記載したので本稿では割愛する。

曲の採譜と音階分析については前原が、三味線奏法と歌詞については永吉が責任を分担する。

### II 調査の概要と研究の方法

今回の報告は2000年3月に実施した和泊町玉城における大里俊文氏の三味線演奏、玉井ツル氏、前田アイ子氏、伊井栄子氏等の演唱によるものである。録音に当っては採譜を正確にする目的で最初に三味線を、次に歌のみを、最後に歌と三味線を採録した。調査後録音したテープから採譜し、採譜した譜をピアノで再現録音し、大里氏等に再度聞いていただき、一部修正して最終稿とした。各曲ごとに音階構成を付記する。第1報と同様に民謡のテトラコードを民、律のテトラコードを律、琉球のテトラコードを琉、呂旋法を呂、えらぶ的ドミソ音型をえらぶと略記する。歌詞のハヤシの部分はカタカナで表記し、歌い手以外のハヤシを「」で表記する。

また三味線譜の下に数字記号を記載する。これは永吉が考案した三味線奏法の記譜法である。1980年、畦布集落の子どもたちに三味線を教えた過程で「いかにしたら三味線の勘所を速く押さえることができるか」という目的で考案したものである。五線譜を見て音の高さと長さを想定しながら容易に勘所を押さえることができる。詳しくは第2報のIV項参照。

尚、三味線譜には清村杜夫氏の記譜法を参考にして、曲頭ト音記号の下に8 Va Sempre Bassa を記載する。

### III 調査内容

#### 1. かにがゆいしまる(うしうし)

※実音は短2度上

本調子・指間II  
♩ = 100

和泊町玉城 2000. 3. 22

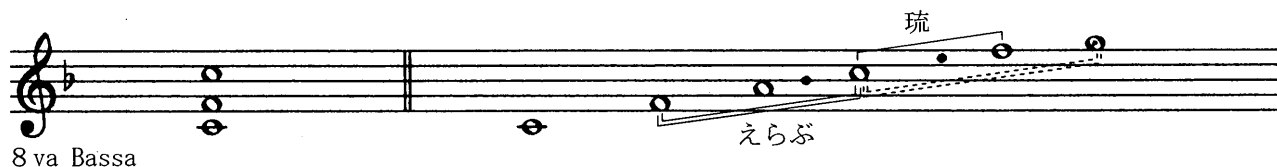
歌 玉井 ツル(1922 生)

前田アイ子(1934 生)

伊井 栄子(1939 生)

三味線 大里 俊文(1926 生)

採 譜 前原隆鋼・永吉敏人



歌

三味線

8 Va  
Sempre Bassa

かに が ゆ い しー ま る うい (うい) じょー は い

じょ き たー か ハリ てィ ん ま う る さん さ ち

く いむどん (いむどん) が う りー てィ ハリ う ち ん ちょー (ちょー) ちん しゅが (しゅが)

な ま た めー ら ど ウ シ ウ シ な ま た

めー ら ど

1 番のみ、2 番以降では省略

20 10 22 30 23 30 32 33 34 22 22 30 32

34 34 33 22 30 30 32 30 23 22 22 30 32 34 33 33

22 22 30 32 34 34 33 22 30 30 32 30 23 22 22 30 32 34 33 33

22 30 33 30 23 22 20 10 33 34 33 33 33 22 30 33

30 23 22 20 10 33 34 33 33 33 22 30 33 30 23 22 20

# 1. かにがゆいしまる(うしうし)

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| ① かにがゆいしまる       | (かにがゆいしまる<船名>)        |
| ういじョ はいじョ きたか    | (<波間を>浮いて走ってきたか)      |
| ハリ てんま うるさん さち   | (ハリ てんまをおろす前に)        |
| クイムドンが うりてイ      | (クイムドン<人名>が降りて)       |
| ハリー うちぬ ちょうちん主が  | (ハリ うちの ちょうちん主は)      |
| なー また めーらど       | (もー また いらっしゃったよ)      |
| ウシウシ なー また めーらど  | (ウシウシ もーまた いらっしゃったよ)  |
| ② なー また いちみるが    | (もう また いつ あえるのか)      |
| まにまにぬ どうしんちゃ     | (たまにしか あえない ともだちよ)    |
| ハリ しちぬある とウきどウ   | (ハリ 時節がきたら)           |
| みゃいどウ しゆる        | (会うことができるよ)           |
| ウシウシ みゃいどウ しゆる   | (ウシウシ 会うことができるよ)      |
| ③ しち まちヨリ まちヨリ   | (時節を 待っていなさい 待っていなさい) |
| くいぬ しち まちヨリ      | (恋の 時節を 待っていなさい)      |
| ハリ くいぬ しち まちユんでイ | (ハリ 恋の時節を待っていたら)      |
| とウし どウ ゆたる       | (年を とって しまった)         |
| ウシウシ とウしどウ ゆたる   | (ウシウシ 年を とって しまった)    |

## 2. 浜千鳥(ちじゅや)

※実音は短2度上

和泊町玉城 2000. 3. 22

歌 玉井 ツル(1922 生)

前田アイ子(1934 生)

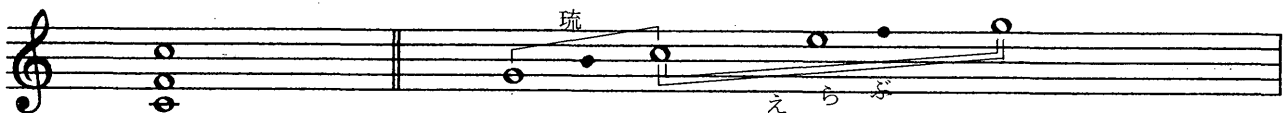
伊井 栄子(1939 生)

三味線 大里 俊文(1926 生)

採 譜 前原隆鋼・永吉敏人

本調子・指間Ⅱ

♩ = 100



8Va Bassa

歌

三味線

21 #23 30 30 #23 30 30 30 32 34 30 30 #23 30 30 30 21 #23 30 30 #23 30 30 30

32 34 30 30 #23 30 30 30 21 30 21 #23 30 21 30 21 30 30 32 34

— ち — ジュ — — や — — は — — じ

30 #23 30 30 32 32 34 34 34 32 32 34 34

— — — ち ア ハ リ — け — — ぬ ちゅ

32 34 33 32 30 21 30 21 30 21 32 21 30 21 30 30 32 34 34

— ら — — さ — アイ — ス リ — — イ — ス —

32 34 33 33 32 32 30 30 30 21 30 21 #23 30 30 30 30 30 34 32 33

リ — ヤ — イ ス リ — ナ — —

34 34 34 33 32 34 33 32 30 30 30 30 30 #23 30

う り み — — ゆ ん でイ — — ふ — り — —

30 21 30 30 32 30 #23 30 30 32 32 30 30 30 32 32 32 34

てイ — — — な — — ま — — どう ウ

34 34 34 33 32 34 34 34 34 33 33 32 32 30 30 30 30

ハ リ — — な — ま — どう き — — ちゃ — — — る — ウ

30 30 32 32 30 30 30 32 32 33 34 34 30 32 34 33 32 32 30 30 30 30 30

## 2. 浜千鳥(ちぢゅや)

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| ① はまちぢゅや ちぢゅや     | (浜千鳥 千鳥)           |
| はじ ち ハリー けーぬ ちゅらさ | (足使いの きれいなことよ)     |
| イースリ イースリ ヤイスリナ   | (イースリ イースリ ヤイスリナ)  |
| うり みゆんでイ ふりてイ     | (それく足使いを見て、見ほれて)   |
| なまどウ ハリー なまどウ     | (今 ハリー 今)          |
| さちやる              | (来ました)             |
| ハマ ウリトウティ         | (ハマウリトウティ)         |
| チヂュヤーヌ シナー フイファイ  | (チヂュヤーヌ シナー フイファイ) |
| ② たんでイ はまちぢゅや     | (どうか 浜千鳥)          |
| なくな ハリー はまちぢゅや    | (鳴くな ハリー 浜千鳥)      |
| イースリ イースリ ヤイスリナ   | (イースリ イースリ ヤイスリナ)  |
| なくとウ うむかぎぬ        | (鳴くと 面影が)          |
| ましてイ ハリー まさてイ     | (更に ハリー 更に)        |
| たちゅり              | (立つよ)              |
| ハマ ウリトウティ         | (ハマ ウリトウティ)        |
| チヂュヤーヌ シナー フイファイ  | (チヂュヤーヌ シナー フイファイ) |
| ③ しらはまに うりてイ      | (白浜に 降り立って)        |
| しにか ハリー ちゅーぬ とウいや | (死にそうな ハリー 鳥は)     |
| イースリ イースリ ヤイスリナ   | (イースリ イースリ ヤイスリナ)  |
| くちや くるくちぬ         | (口は 黒い口で)          |
| しらでイ ハリー しらでイ     | (白く ハリー 白く)        |
| みゃゆい              | (見える)              |
| ハマ ウリトウティ         | (ハマ ウリトウティ)        |
| チヂュヤーヌ シナー フイファイ  | (チヂュヤーヌ シナー フイファイ) |

### 3. いちゅみ かな

※実音は短2度上

本調子・指間Ⅰ  
♩ = 100

和泊町玉城 2003. 3. 22

歌 玉井 ツル(1922 生)

前田アイ子(1934 生)

伊井 栄子(1939 生)

三味線 大里 俊文(1926 生)

採 譜 前原隆鋼・永吉敏人

8 Va Bassa

歌

三味線

8 Va  
Sempre Bassa

ヨ ハー リ い ちゅ み ー か

な ー よ ヨ ー ハ リ わ ちゃ

く ー とウ ー わー し り ー ー てイ

シヤ ワイ い ちゅ ー み ー か な ー ー

よ ヨ ハ リ ー い ー か ん でイ ー ー

ぬ ー ち む ー ー や ー り や ー ゆ

し ー ー み ら ら ー ん ど ー ハ ナ

ヌ ー ヨーイ ヨ イ ー ゆ し ー ー み ら ら ー ん

ど ー

### 3. い ちゅ み か な

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| ① ヨーハリ いちゅみかなよ ヨーハリ   | (ヨーハリ 行くのですか 加那よ ヨーハリ) |
| わちやくとウ わしりてイ シャーワイ    | (私たちのことを 忘れて シャーワイ)    |
| いちゅみかなよ ヨーハリ          | (行くのですか 加那よ ヨーハリ)      |
| いかんでいぬ ちむ やりや         | (行こうとの 気持ちで あれば)       |
| ゆしみしらんど               | (止めることは しません)          |
| ハナヌ ヨイヨイ              | (ハナヌヨイヨイ)              |
| ゆしみしらんど               | (止めることは しません)          |
| ② ヨーハリ わ かな あなみ       | (ヨーハリ 私の彼氏ではありませんか)    |
| ヨーハリ むこうから            | (ヨーハリ むこうから)           |
| だんがさ さち ずりげた くでいちゅーしは | (だん傘をさして ずり下駄をはいてくるのは) |
| シャーワイ                 | (シャーワイ)                |
| わ かな あなみ ヨーハリ         | (私の彼氏ではありませんか ヨーハリ)    |
| むこうから                 | (向こうから)                |
| だんがさ さち ずりげたくでいちゅーしは  | (だん傘をさして ずり下駄をはいてくるのは) |

- わ かな あなみ  
ハナヌ ヨイヨイ  
わ かな あなみ  
③ ヨーハリ みしてイ みヤーだな  
ヨーハリ  
わどうまいぬ ひーふアまま  
すなちぬジュシュに シャーワイ  
みしてイ みヤーだな ヨーハリ  
わどうまいぬ ひーふアまま  
すなちぬジュシュに  
みしてイ みヤーだな  
ハナヌ ヨイヨイ  
みしてイ みヤーだな
- (私の彼氏ではありませんか)  
(ハナヌヨイヨイ)  
(私の彼氏ではありませんか)  
(ヨーハリ 見せてみたいものだ)  
(ヨーハリ)  
(和泊の ヒーファママを<人名>)  
(スナチヌ主<人名>に シャーワイ)  
(見せてみたいものだ ヨーハリ)  
(和泊の ヒーファママを)  
(スナチヌ主に)  
(見せてみたいものだ)  
(ハナヌヨイヨイ)  
(見せてみたいものだ)

#### 4. ひゃーぬ ながさ

※実音は短2度下

和泊町玉城 2000. 3. 22

歌 玉井 ツル(1922 生)

前田アイ子(1934 生)

伊井 栄子(1939 生)

三味線 大里 俊文(1926 生)

採 譜 前原隆鋼・永吉敏人

本調子・指間 I

♩ = 106

8 Va Bassa

歌

三味線

8 Va Sempre Bassa

ひゃーぬ ながさ やーね ちーにゃーぬ

あがりぬ ひゃーど

12 22 22 22 22 22 21 22 30 31 32 34 32 31 32 30 22 22 22 21

12 12 12 22 30 31 30 22 21 21 21 21 21 22 21 12 12 30



#### 4. ひゃーぬながさ

- ① ひゃーぬ ながさや ねーちにゃぬ  
 あがりぬ ひゃーど うりから  
 ぬーたい うりたい シューしや  
 ヨイヨイ  
 ずりがに とウらんでイどウ  
 うりたや ぬーたや シュんど

(坂の長いのは 内喜名<地名>の)  
 (東の坂だ そこを)  
 (上ったり 下ったり しているのは)  
 (ヨイヨイ)  
 (遊女と遊ばんがために)  
 (<坂道を>下ったり 上ったり しているよ)

- |  |                        |
|--|------------------------|
| ナルヘー チルヘー  | (ナルヘー チルヘー)            |
| ② ふど <sup>ウ</sup> ぬ ふい <sup>サ</sup> や いに <sup>ヤ</sup> と <sup>ウ</sup> ぬ | (胴の大きいのは玉城の)           |
| にしと ぐじ うり <sup>よ</sup> か   | (ニシトグジ<人名> それよりも)      |
| たきぬ たかさ あーし <sup>や</sup>   | (身長が高いのは)              |
| ヨイヨイ   | (ヨイヨイ)                 |
| にしばる たかは <sup>な</sup>  | (西原<集落名>のタカハナ<人名>)     |
| でい <sup>ぎ</sup> むら さん <sup>ご</sup> まち                                  | (出花<集落名>のサンゴマチ<人名>)    |
| ナルヘー チルヘー  | (ナルヘー チルヘー)            |
| ③ あし <sup>ぶ</sup> な を <sup>ウ</sup> ど <sup>う</sup> る <sup>な</sup>       | (遊ぶな 踊るな)              |
| しん <sup>び</sup> ョーぬ な <sup>か</sup> く <sup>ま</sup> か <sup>に</sup>       | (下平川<集落名>の ナカクマカニ<人名>) |
| うや <sup>ぬ</sup> し <sup>じ</sup>   | (親が死んで)                |
| な <sup>の</sup> か す <sup>ぎ</sup> ら <sup>ぬ</sup> う <sup>ち</sup> に        | (七日もならないうちに)           |
| ヨイヨイ   | (ヨイヨイ)                 |
| あし <sup>ぶ</sup> な を <sup>ど</sup> う <sup>る</sup> な                      | (遊ぶな 踊るな)              |
| しん <sup>び</sup> ョーぬ な <sup>か</sup> く <sup>ま</sup> か <sup>に</sup>       | (下平川のナカクマカニ)           |
| ナルヘー チルヘー  | (ナルヘー チルヘー)            |

## 5. いんたぶれ

※実音は短2度下

和泊町玉城 2000. 3. 22

歌 玉井 ツル(1922 生)

前田アイ子(1934 生)

伊井 栄子(1939 生)

三味線 大里 俊文(1926 生)

採 譜 前原隆鋼・永吉敏人

三下げ・指間 I

♩ = 106

8 Va Bassa

歌

三味線

8 Va  
Sempre Bassa

沖永良部民謡について

The musical score is written for a piano accompaniment of a Ryukyu folk song. It consists of seven systems, each with a treble and bass staff joined by a brace. The key signature is one sharp (F#), and the time signature is 4/4. The lyrics are in Japanese, and the numbers below the staves indicate fingering for the piano parts.

System 1:  
 Treble: ぐ ん (ちゃ) ぬ い (じゅ) んー (じょ) ー じー  
 Bass: 20 20 12 20 20 21 20 10 31 30 31 30 22 20 20 12 20

System 2:  
 Treble: ば (しゃ) ー は ー (じゅ) ん (でい) ー ー ー  
 Bass: 20 21 20 22 22 31 31 30 31 33 33 31 30 22 22 30 30 30 30 31 31

System 3:  
 Treble: み ん まー ぬ ぼ ー に ー (とウ) じー  
 Bass: 22 31 31 30 31 22 21 20 20 12 20 31 31 20 10 22 22 31

System 4:  
 Treble: しー らー ー (てい) ー ー ー う りー  
 Bass: 30 31 33 33 31 30 22 22 30 30 30 30 31 31 22 22 31 31 31 20 20 21

System 5:  
 Treble: が ー は ら だ ぬ ー (くア) ー ー や  
 Bass: 20 20 20 20 22 22 31 31 31 30 30 22 22 31 33 34 34

System 6:  
 Treble: ー ヨ ハ リ み ん まー ぬ ぼ ー が  
 Bass: 33 34 31 31 33 31 31 31 30 31 22 21 20 20 12 20 31 31

System 7:  
 Treble: し に ぐ ま ー だ ー ー み ー ー  
 Bass: 20 10 22 31 30 31 33 33 31 30 22 22 30 30 30 30 31

フ ン ヌ ー カ ヤ ー ヤ ー マ ク ー

22 31 31 31 30 22 20 20 12 20 31 20 10 22 31

トウ ー カ ー ヤ

30 31 33 33 31 30 22 22 30 30 30 30 31 22 31 31 30 22

20 12 20 31 31 20 10 22 31 30 31 33 33 31 30 22 30 30 30 30 30 30

エ ー ー ふ ん そ や ー は や ー り てイ

10 20 20 20 20 21 20 12 10 10 12 20 20 12 20 22

ちユ い ー ー わ た や ー ふ

30 30 22 30 31 31 20 20 22 22 22 31 33 33 31 31 31

でイ ー てイ ー ー ちユ ー い ふ ん そ ー

30 22 20 20 12 22 31 30 30 30 30 31 31 10 12 12

や ー む ら さ き ー ふ ん ー そ

20 20 20 20 22 31 31 31 30 30 22 22 31 33 33 34 34 34

沖永良部民謡について

一 ヨ ハ リ た ん げ ら ら ん ど

わ う や きよ ー で ー ん ちゃ ー ー ー

フ ン ヌ ー カ ヤ ー ヤ ー マ ク ー

トゥ ー カ ー ー ヤ ー ー ー

1.2.3.4. 5.

5. いんたぶれ

- ① にしみ ちゅら をうなぐんちゃぬ  
 いじゅんじょじ ばしゃ はじゅんでい  
 みんなぬぼーに とぅじ しらてい  
 うりが はらだぬ くーや ハリ  
 みんなぬぼーが しにぐまだみ  
 フンヌカヤーヤ マクトゥカヤ
- ② エー ふんそーや はやりてい ちゅい  
 わたや ふでいてい ちゅい

- (西目<地名>の美人達が)  
 (イジュンジョ<地名>で芭蕉の<茎>を剥いていたら)  
 (ミンマヌ坊の妻にされて)  
 (それが 孕んだ子供は ハリ)  
 (ミンマヌ坊のため)  
 (フンヌカヤーヤ マクトゥカヤ)  
 (エー 疱瘡が はやってくる)  
 (腹は大きくなってくる)

- ふんそや むらさき ふんそー ハリ (疱瘡は紫の疱瘡だ ハリ)  
 たんげららんど わ うやきょうでいちゃ (頼りにならない 私の親兄弟<姉妹>達)  
 フンヌカヤーヤ マクトウカヤ (フンヌカヤーヤ マクトウカヤ)  
 ③ エー うらむ ふんそー してイリ (えー あなたも疱瘡を捨てなさい)  
 わぬむ ふんそー してイラ (わたしも疱瘡を捨てましょう)  
 たげに ふんそー していてイ ハリ (お互いに疱瘡を捨てて)  
 うとウジャ またうとウジャ (姉妹<兄弟>に また姉妹<兄弟>に)  
 シャーぶら (なりましょう)  
 フンヌカヤーヤ マクトウカヤ (フンヌカヤーヤ マクトウカヤ)

## 6. あんちゃ めーぐア

※実音は短2度下

和泊町玉城 2000. 3. 22

歌 玉井 ツル(1922 生)

前田アイ子(1934 生)

伊井 栄子(1939 生)

三味線 大里 俊文(1926 生)

採 譜 前原隆鋼・永吉敏人

本調子・指間Ⅱ

♩ = 106

8 Va Bassa

歌

三味線

8 Va  
Sempre Bassa

え ら ぶ

え ら ぶ

ハレ イ ー な まぬ ー あん ちゃ め ぐア ー わぬ

し は じゅ ー み ら ば ー よ ー ー う り が ー く い む

22 30 22 34 33 33 22 34 33 22 30 30 30 30 22 22 10 30 22 34 33 33 22 34 33 22 30 30 30 22 22

10 22 30 30 30 22 22 30 22 30 34 34 34 33 32 22 30 30 30 32

34 30 34 34 30 32 34 33 34 32 32 32 34 34 34 34 33 34 33 33 22

## 6. あんちゃめーぐア

- ① ハレイ なまぬ あんちゃめーぐア  
 わぬし はじみらば ヨー  
 うりが くい むどウし  
 ウネ うらし しより  
 アンチャメーグア  
 うらし しより
- ② ハレイ うりが くいむどウし  
 わーが しらんでイ シャーしが ヨー  
 ぬでイぬ ちまくるでイ  
 ウネ あびが ならん  
 アンチャメーグア  
 あびが ならん
- ③ ハレイ むかし うやほた  
 わすりてイヤ しまむ ヨー  
 たげに うちすりてイ  
 ウネ うとてイ あしば  
 アンチャメーグア  
 うとてイ あしば

- (ハレイ 今の アンチャメーグアを)  
 (私から 歌いだしますから)  
 (その 返し歌を)  
 (ウネ あなたが 歌ってください)  
 (アンチャメーグア)  
 (あなたが 歌ってください)  
 (ハレイ その返し歌を)  
 (私が 歌おうとしましたが ヨー)  
 (喉が つまってしまって)  
 (ウネ歌うことが できません)  
 (アンチャメーグア)  
 (歌うことができません)  
 (ハレイ 昔の祖先達を)  
 (忘れては いけません ヨー)  
 (お互いに 心を一つにして)  
 (ウネ 歌って遊びましょう)  
 (アンチャメーグア)  
 (歌って遊びましょう)

## 7. ゆいくさ

※実音は短2度下

三下げ・指間 I

和泊町玉城 2000. 3. 22

歌 玉井 ツル(1922 生)

前田アイ子(1934 生)

伊井 栄子(1939 生)

三味線 大里 俊文(1926 生)

採 譜 前原隆鋼・永吉敏人

♩ = 106

琉  
え ら ぶ

8 Va Bassa

歌

三味線

8 Va  
Sempre Bassa

う に じー — さ — — — さ い — — り — — —

てイ — — いユ — — いユ — — とウ — — り — — じ — — よ —

か — — — は — — — あ — — — ぎ — — じ — — さ — —

さ — い — — り — — てイ — — シャワイ あぎじ — — さ —

— さ — — い — — り — — — — てイ — — め — ら



沖永良部民謡について

7. ゆ い く さ

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| ① うにじ ささ いりてイ   | (海でササ<漁法の一つ>入れて)  |
| いユー とウらじ よかは    | (魚を取るよりは)         |
| あぎじ ささ いりてイ     | (陸でササを入れて)        |
| シャーワイ           | (シャーワイ)           |
| あぎじ ささ いりてイ     | (陸でササを入れて)        |
| めーらび だきや        | (女童を抱いた方が)        |
| ましんど ヨー         | (ましだ ヨー)          |
| ユイガサーサ ムチクガナイナイ | (ユイガサーサ ムチクガナイナイ) |
| ヒヤクリサーサ         | (ヒヤクリサーサ)         |
| ② うにぬ ゆいくさや     | (海の寄り草よ)          |
| うら うだじ ちちユに     | (あなたはどこに寄り着くのか)   |
| くま かなしゃ あてイドウ   | (ここがいとしいので)       |
| シャーワイ           | (シャーワイ)           |
| くま かなしゃ あてイドウ   | (ここがいとしいので)       |
| ゆい ちちやる ヨー      | (寄り着きました ヨー)      |
| ユイガサーサ ムチクガナイナイ | (ユイガサーサ ムチクガナイナイ) |
| ヒヤクリサーサ         | (ヒヤクリサーサ)         |
| ③ はまに うつ なみや    | (浜を打つ波は)          |
| うち むどウし むどウす    | (打ち戻し戻す)          |
| にぞ しぬぶ さとウや     | (彼女を慕う彼は)         |

シャーワイ

にぞ しぬぶ さとウや

いじゃや また きちやや ヨー

ユイガサーサ ムチクガナイナイ

ヒヤクリサーサ

(シャーワイ)

(彼女を慕う彼は)

(行ったりきたりしている ヨー)

(ユイガサーサ ムチクガナイナイ)

(ヒヤクリサーサ)

# 8. い ち か 節

※実音は短2度下

本調子・指間Ⅱ

♩ = 106

和泊町玉城 2000. 3. 22

歌 玉井 ツル(1922 生)

前田アイ子(1934 生)

伊井 栄子(1939 生)

三味線 大里 俊文(1926 生)

採 譜 前原隆鋼・永吉敏人

8 Va Bassa

歌

三味線

8 Va  
Sempre Bassa

え ら ぶ

え ら ぶ

う し ー は

じゅ み ー て イ ー ど う や ー し ー が ー

22 22 30 33 22 30 30 22 34 34 34 32 34 30 34 22 30

22 10 22 30 32 34 22 23 34 33 22 30 32 34 33 33 20 22 10 20

22 22 30 33 33 30 30 30 22 22 10 30 22 34 34 34 34 32

34 34 34 34 32 33 34 34 34 32 32 33 32 34 33

沖永良部民謡について

あ う さ り が し ゆ ら い

ち ば て イ ひ ち

じ ゃ し ョ り あ お ち

み ヤ ぶ ら す り

8. い ち か 節

① ウーシ

は じ ゅ み て イ ど う や し が  
あ う さ い が し ゆ ら  
ち ば て イ ひ ち じ ゃ し ョ り  
お ー ち み ヤ ー ぶ ら  
ス ー リ

(ウーシ)

(初めてですけれども)

(合わすことができるかどうか)

(頑張って〈三味線を〉弾きだしてください)

(合わせてみましょう)

(スーリ)

② ウーシ

ちゅーぬ ふくらしゃや  
むぬに たてイららむ  
いちむひゅーぬ ぐとウし  
あらち たぼり  
スーリ

(ウーシ)

(今日の喜びは)  
(何物にも譬えがたい)  
(いつも今日のように)  
(あらせてください)  
(スーリ)

③ ウーシ

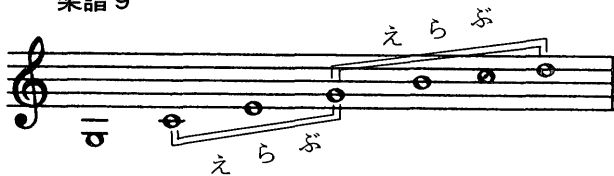
むかし いちんとぶし  
うらや わしりていな  
わみや なままでイむ  
わしりぐるしゃ  
スーリ

(ウーシ)

(昔のイチントブシ<イチカ節の別称>を)  
(あなたはわすれたのですか)  
(私は今でも)  
(忘れにくい覚えています)>  
(スーリ)

IV 総 括

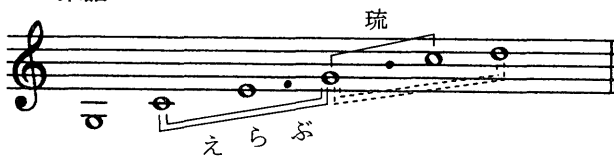
楽譜 9



楽譜 12



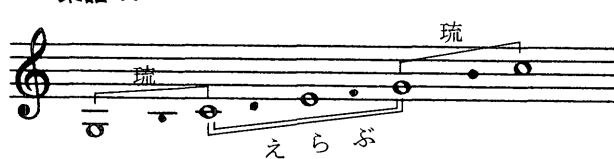
楽譜 10



楽譜 13



楽譜 11



1. 今回採譜した玉城地区の民謡全8曲について音階構成を考察する。前項で各曲ごとに音階を付記してきたが、次の3グループに分類することができる。

① ドミソ音型と琉球のテトラコードがコンジャンクトした音型：楽譜9～11

イ。「あんちゃ めーぐア」「いちか節」：楽譜9

(杉本信夫氏による沖永良部の音階—沖縄県立芸術大学紀要第6号—と同じ音階)

ロ。「かにがゆいしまる」：楽譜10

ハ。「浜千鳥」「いんたぶれ」「ゆいくさ」：楽譜11

② 律のテトラコードがコンジャンクト、ディスジャンクトした音型

「いちゅみ かな」：楽譜12

③ 律のテトラコードと民謡のテトラコードがコンジャンクト、ディスジャンクトした音型

「ひゃーぬ ながさ」：楽譜 13

以上 8 曲中、6 曲はドミソ音型と琉球のテトラコードの接続によるものであり、2 曲は律、民謡のテトラコードの接続によるものである。分類①の曲数が多いといえることができる。

次に今回採譜した曲の中で、特に調査内容 5 の「いんたぶれ」については、地域差の視点から述べておくこととする。この曲では、音階構成は他地区と同じであるが、フレーズの長さやフレーズの数、旋律の歌い直しなどで、特に一番においては他地区と異なる部分が多く見られる。玉城地区の独特な「いんたぶれ」の味わいを感じることができよう。

また調査内容 4 の「ひゃーぬ ながさ」は今回の調査で初めて採録された曲であり大きな収穫であった。

2. 曲名、歌詞、ハヤシについて考察する。

玉城字の民謡は、他所（沖永良部島内の他の集落等をいう）の民謡と比較した時に、曲名、歌詞の内容、ハヤシ及びその用法が趣を異にしているのでその相違点について述べることにする。

はじめに曲名についてであるが、他所では一般的に「かにがゆしんまる（ウシウシ）」と称しているが、玉城では「かにがゆいしまる（ウシウシ）」と称している。

また、他所で「うにぬささくさ（海の笹草）」に対し、玉城では「ゆいくさ（寄草）」と称している。

次に歌詞の内容についてであるが

特に「いんたぶれ」は、他所のそれとは全く違う歌詞であり、ハヤシである。一番目の歌詞は何かの言い伝えを歌いこんでおり、興味深いものがある。

ハヤシとその用法についてであるが

浜千鳥（ちぢゅや）のハヤシは、一般的には「チヂュヤヌ ハマウリトウティ チュイチュイナ」で、浜千鳥が浜に降り立って「チュイ チュイ」と鳴いている様をハヤシにしている。玉城では「ハマ ウリトウティ シナー フイフイ」となっている。これは、浜千鳥が浜に降り立って砂を掘っている様をハヤシにしたものである。他所では浜千鳥の鳴き声を、玉城では浜千鳥の足使いをそれぞれハヤシにしている。その他には「いちゅみ かな」、「ゆいくさ」で「シャーワイ」のハヤシが、「あんちゃめーぐア」で「ウネ」のハヤシが使われており玉城独特の感がする。

又、玉城の民謡で特徴的なのは、ハヤシの用法である。それは、単語を分断する形をとっていることである。浜千鳥の「はじ ち ハリー けぬ ちゅらさ」これは足使いのきれいなことよの意であるが、「ちけぬ（使いが）」を「ち」と「けぬ」を分ける形でハヤシの「ハリー」が用いられている。これも他所では「ハリー はじ ちけぬ ちゅらさ」か「はじ ちけぬ ちゅらさ ハリー」となるのが一般的な用法である。

以上、指摘したことがなぜ玉城でおきたのか、推測の域をはなれないが、他所との交流が殆どなかったか、あるいは他所との交流をかたくなまでに拒んだ結果なのかも知れない。

いづれにせよ、他所での調査においては歌詞に若干の揺れが感じられたが、玉城の調査においてはそれはなかった。

つまり、極めて個性的な民謡に接することができた調査でもあった。

参 考 文 献

- ・和泊町誌・民俗編 和泊町 1984
- ・南海の歌と民俗 仲宗根幸市著 1985
- ・沖永良部民謡集 吉田三味線楽譜研究所 1985
- ・沖永良部民謡集 知名町中央公民館 1997

- ・南日本民謡曲集 久保けんお著 1960
- ・日本の音楽—歴史と理論— 小泉文夫著 1979
- ・鹿児島におけるこどもの伝承文化の研究—和泊町のわらべ唄と遊び—鹿児島女子短期大学紀要第16号 日高良廣・前原隆鋼 1981
- ・鹿児島におけるこどもの伝承文化の研究—知名町のわらべ唄と遊び—鹿児島女子短期大学紀要第17号 日高良廣・前原隆鋼 1982
- ・奄美の音楽「三弦」「ユタの“おもり”」奄美郷土研究会報第24号 清村杜夫 1984
- ・奄美の遊び歌楽譜集 一日本民謡大観 奄美諸島篇補作— 東京芸術大学民族音楽ゼミナール編 1991
- ・沖永良部五つの歌曲 沖縄県立芸術大学紀要第6号 杉本信夫 1998
- ・中国と琉球の三弦 玉耀華著 1998
- ・沖永良部民謡について 一第1報 喜美留地区(和泊町)および住吉地区(知名町)における調査— 南九州地域科学研究所報第15号 pp. 57～108 前原隆鋼・永吉敏人 1999
- ・三線のはなし 宜保栄治郎著 1999
- ・奄美シマウタへの招待 小川学夫著 1999
- ・沖永良部民謡について 一第2報 正名地区(知名町)における調査— 南九州地域科学研究所報第16号 pp. 15～88 前原隆鋼・永吉敏人 2000
- ・沖永良部民謡について 一第3報 和地区(和泊町)における調査— 南九州地域科学研究所報第17号 pp. 15～75 前原隆鋼・永吉敏人 2001
- ・沖永良部民謡について 一第4報 和泊地区(和泊町)における調査— 南九州地域科学研究所報第18号 pp. 13～85 前原隆鋼・永吉敏人 2002
- ・沖永良部民謡について 一第5報 上城地区(知名町)における調査(1)— 南九州地域科学研究所報第19号 pp. 1～23 前原隆鋼・永吉敏人 2003
- ・沖永良部民謡について 一第6報 上城地区(知名町)における調査(2)— 南九州地域科学研究所報第20号 pp. 11～33 前原隆鋼・永吉敏人 2004